学校番号	2102

令和２年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	現代の日本史(日本史Ａ)　(山川出版社)						
副教材等	写真資料館 日本史のアーカイブ　(とうほう)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去から未来への時間の流れと、世界の中の日本という空間の広がりの中、今ここで生きている自分を考える。
・歴史的な事象に対して、「なぜ」「どうして」という疑問をもち、その答えを見つける姿勢。
・近現代の「日本史」を、常に「世界史の一部」としてとらえ、現在の日本のあり方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を日本の近現代史を中心とする歴史と結びつけ、歴史的観点から考察する。
・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・近現代の日本の歴史を教訓として学び、未来の日本をになう人間としての力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に探求するとともに、国際社会に主体的に生きる人間としての意義と役割を考える。	現代世界および日本の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現できる。	近現代を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	近現代を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を、地理的な条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート ---------- ［主題学習］ 振り返りシート	定期考査 ワークシート ---------- ［主題学習］ レポートおよび報告会での発表	定期考査 ワークシート ---------- ［主題学習］ 「歴史新聞」	定期考査 ---------- ［主題学習］ 「我が家の歴史年表」

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	私たちの時代と歴史	・近代・現代の街並みと暮らし ・「近代」の始まりと社会の変化 ・開国までの歴史・概観	○	○	○	○	a:街並みと暮らしの変化や「近代」がいつ始まったのか、また、開国までの歴史の概観を通じて意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 d:地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。	ワークシート レポート
	近代の日本と世界	・開国と維新 ・近代国家の形成と発展 ・産業化の推進と国民経済の変化 ・第一次世界大戦と大正デモクラシー ・第二次世界大戦と日本	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:開国と維新を通じた近代国家の形成や産業化の進展、第一次・第二次世界大戦の中の日本について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:近代国家の形成・発展期の日本の特質を見いだし、世界史的発展などと関連づけをしながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 近代国家の形成・発展期の日本の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	現代の日本と世界	・占領下の日本 ・日本の自立と経済成長 ・現代の世界と日本	○	○ ○	○ ○	○	a:占領下および復興と経済成長期の日本ならびに現代の世界と日本について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:設定された時代の日本の特質を見いだし、世界史的発展などと関連づけをしながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦後から現代にいたる必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:占領下および復興と経済成長期の日本ならびに現代の世界と日本について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

	持続可能な社会への展望	［主題学習］ ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a:現代の諸課題を、日本の近現代史を中心とする歴史と結びつけ、歴史的観点にもとづいて意欲的に探求しようとしている。 b:現代の諸課題を、日本の近現代史を中心とする歴史と結びつけ、歴史的観点から考察し適切に表現している。 c:現代の諸課題を、日本の近現代史を中心とする歴史と結びつけ、歴史的観点にもとづく必要な情報を収集し、図表にまとめている。 d:現代の諸課題に関する知識を身につけている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。